

令和7年度 公益財団法人神奈川県消防協会 業務報告
(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

事業項目	実施内容	事業区分	日程(時期)
I 会 議	1 次の会議を開催し会務の進展を図った	(公1)	
	(1) 評議員会 ・定時 於 産業貿易センター		5/27
	(2) 理事会 ・定時 於 シルクセンター		5/12
	(3) 正副会長会議 ・第1回 於 シルクセンター		8/19
	(4) 表彰審査委員会 ・於 シルクセンター	(公2)	8/19
	(5) 7地区消防団事務担当者会議 ・於 シルクセンター		4/21
	(6) 消防団事務担当者会議 ・於 神奈川県消防学校	(公3)	7/11
	2 次の会議に出席し、会務を調整した		
	(1) 日本消防協会役員会議 ア 理事会 ・於 (書面会議) イ 理事会・評議員会 ・於 日本消防協会 野本会長及び横川事務局長出席		5月 6/27
	(2) 関東甲信地区消防協会会議 (東京都) ・於 相鉄フレッサイン 銀座三丁目 野本会長・横川事務局長出席		6/4~5
II 表 彰	(3) 関東甲信地区消防協会事務局長会議 (千葉県) ・於 ホテルポートプラザちば 千葉県千葉市中央区千葉港8-5 会長、事務局長、事務局員3名出席		12/4~5
	(4) 都道府県消防協会事務局長会議 (日本消防会館2階大会議室) 事務局長、事務局堤消防団担当課長出席		2/27
	1 令和7年度神奈川県消防功労者表彰式	(公2)	3/27
	(1) 消防団の表彰 ア 表彰旗 1団 小田原市消防団 イ 竿頭綬 3団 秦野市消防団、愛川町消防団、 横浜市神奈川消防団		
	(2) 消防団員の表彰 ア 功績章 199名 イ 功労章 0名 ウ 勤続章20年 361名 エ 精勤章20年 361名 オ 精勤章10年 630名 カ 精勤章 5年 666名		
	2 第78回日本消防協会定例表彰式 ・於 日本消防協会	(公2)	3月6日
	(1) 特別功労章 神奈川県消防協会長 野本 敏明		
	(2) 表彰旗 1団 座間市消防団		
	(3) 竿頭綬 3団 山北町消防団、大和市消防団、 真鶴町消防団		
	(4) 功績章 19人 (5) 精勤章 47人 (6) 勤続章 133人 (7) 優良婦人消防隊 1隊 吉倉婦人消防隊 (8) 優良婦人消防隊員 池上婦人消防隊 佐藤 祥子		

事業項目	実施内容	事業区分	日程(時期)
Ⅲ 指導研修・調査研究	1 神奈川県消防学校において次の研修会を開催した (1) 消防団幹部研修 (1日研修) ・対象者 副団長以下 ・出席者 57団中 52名 研修内容: (午前) (株)タフジャパン 鎌田氏による講義 Ⅰ 消防団員の体力維持と向上について・2 運動と健康管理について (午後) 日本消防協会 福祉部長 宮川氏による講義 Ⅰ 消防団員の確保普及活動について・2 消防団員の処遇等について	(公1)	6/13
	(2) 消防団副団長研修 (1日研修) ・出席者 57団中 51名(2名欠席) 副団長23名・分団長24名・副分団長2名 研修内容: (午前) 消防基金S-KYT指導員松永和郎氏 ・消防団の安全管理と健康管理について (午後) 元横浜市理事 岸元凌幾氏 Ⅰ 今日の気象状況から起こる災害及び地域消防団副団長の役割について		7/4
	(3) 正副団長研修会 (1日研修) ・対象者 正副団長 57団中 161名 団長45名・副団長116名 研修内容: ・消防団健康セミナー (消防団員等公務災害補償等共済基金のS-KYT研修講師) 赤十字職員による消防団員健康づくりセミナーを受講した		10/3
	(4) 消防団員指導者講習 10月~11月 ・対象者 副分団長以下 (1日講習 計7回) ・講習受講者 39団中 315名 講習内容: ※横浜市18団は横浜会場で別途開催 R7年6月22日 102名 講師: 神奈川消防学校教官 ・指導員としての心構え ・訓練礼式 ・火災現場における現場指揮要領 (消火訓練含む)		10/19 10/26 11/1 11/9 11/16 11/22 11/30
	(5) 消防団員指導員研修 (1泊2日研修) 横浜市18団除く ・対象者 副団長以下 ・出席者 39団中 34名 研修内容: 講師: 神奈川消防学校教官 ・指導員としての心構え ・訓練礼式 ・火災現場における現場指揮要領 (消火訓練含む)		10/11~12
	(6) 消防団員幹部候補研修 (1日研修) ・対象者 分団長以下 ・出席者 57団中 54名 講習内容: (午前) 講師: 元日本消防協会福祉部長 小野和夫氏 ・消防団への期待と団員確保のための方策 (午後) 講師: (株)タフジャパン 鎌田修広 ・消防団員の体力維持向上について		12/2
	(7) 消防団幹部地震対策特別講習 (1日講習) ・対象者 分団長以下 ・出席者 39団中 58名 ※横浜市18団は横浜会場で別途開催 R8年3月1日 53名 講習内容: (午前) 講師: 神奈川消防学校教官 座学 火災性状と消火理論 講師: NPO法人日本防災環境 杉原講師 神奈川県地震対策及び災害対策基本法に基づく活動上の県の取組実態と対策 (午後) 講師: 神奈川消防学校教官 火災防ぎよ Ⅰ 注水技術 Ⅱ 災害想定訓練		12/7

事業項目	実施内容	事業区分	日程(時期)
Ⅲ 指導研修・調査研究	(8) 女性消防団員等研修 (1日研修) ・対象者 女性消防団員、婦人消防隊員等の指導者 ・出席者 女性消防団員 31団中48名 婦人消防隊員等 10名 計58名 講習内容: (午前) 講師: 神奈川県消防学校教官 ・訓練礼式・器具取扱い (午後) 講師: 神奈川県消防学校教官 ・災害対策訓練 (水災害対応)		2/8
	(9) 消防団分団長研修 (1日研修) ・対象者 各団分団長又は副分団長 1名 ・出席者 39団中申込38団 37名 (当日欠席1名) 講習内容: 横浜市18団は横浜市会場で別途開催 R7年10月18日・10月25 168名 (午前) 講師: 神奈川県消防学校 派遣教官 Ⅰ 消防団の現場 2 今日的視点に立った消防団の機能と役割 (午後) 講師: 神奈川県消防学校 田中課長 Ⅰ 消防団の活性化対策 2 消防団による地域住民指導		2/15
	2 第26回全国女性消防操法大会への参加 ・場 所: 横浜赤レンガ倉庫前広場_神奈川県横浜市中区新港1-1 ・出状隊 小田原市女性消防団 1隊 7名 ・参加者 310名		10/28
	3 第30回全国女性消防団員活性化長崎大会への参加 ・於 「出島メッセ長崎」長崎県長崎市尾上町4-1 「来んね! 平和の街へ 島々へ ~未来へ、長崎でつながる女性消防団~」をテーマに、全国女性消防団員活性化長崎大会 (出島メッセ長崎) に参加した ・於 大会会場及び情報交流会会場は「出島メッセ長崎」 長崎県長崎市尾上町4-1 ・参加者 女性消防団員35名 南足柄副団長1名男性随員3名 会長及び協会事務局4名		11/12~14
	4 総合的防災に係る指導及び講習に関する調査研究消防防火に関する国際的団体への参加助成消防学術研修会への参加助成 (1) 日本消防協会が主催する第52回消防団幹部特別研修 (3泊4日研修 1名) ・参加団員 (市消防団 副団長)		1/13~16
	(2) 第25回消防団幹部候補中央研修 男性消防団員の部 (2泊3日、男3名) ・参加団員 相模原市消防団 班長 小瀧俊 横浜市南消防団 班長 佐久間創 真鶴町消防団 団員 鈴木大輔		1/28~1/30
	(3) 第25回消防団幹部候補中央研修 女性消防団員の部 (2泊3日、女2名) ・参加団員 横浜市南消防団 班長 野末善子 秦野市消防団 団員 佐野貴美子		2/18~20

事業項目	実施内容	事業区分	日程(時期)
IV 福祉対策	1 消防団員に対し次の区分により弔慰金・見舞金を贈呈した (1) 弔慰救済 23名 (4/1~3/31) (2) 障害及び傷病救慰 1名 (3) り災救慰 1名 2 消防慰霊碑管理委員会の行う慰霊祭に補助金を交付するとともに、同委員会の事業に協力した (1) 神奈川県殉職消防職団員慰霊祭 ・ 於 神奈川県消防学校 参列者 474名 (2) 慰霊碑管理委員会 3 神奈川県消防長会とともに神奈川県消防殉職者遺族会が行う消防殉職者遺族に対する援護活動を積極的に支援した (1) 第1回理事会 於 シルクセンター (2) 第2回理事会 於 シルクセンター	(他)  (他) (他)	期中 10/22 4/17 8/7
V 防火思想の啓発	1 火災予防ポスターを配布し、火災予防思想の啓発高揚を図った(10月/2月) 2 消防フェア(神奈川県と協賛し県内7地区と協力し輪番で開催)	(公3) (公3)	期中 期中
VI 消防力の充実強化	1 消防団員確保のための普及・啓発活動の推進を図った 2 日本消防協会が交付する防災車両等の積極的な配置要請を行った ・ 消防団防災学習・災害活動車Ⅱ(ワンボックス型) 逗子市消防団に決定した 3 青少年消防クラブ及び婦人消防隊の育成強化と普及広報活動を推進した 4 女性消防団員制度導入に伴う普及啓発支援活動の支援を行った 5 消防団活動の助成 県下消防団(支部)に交付金を交付し、活動の充実を図った	(公1) (公1) (公1) (公3) (公1)	期中 期中 7/10 期中 期中 期中 7/5
VII 日本消防協会との協力	1 消防個人年金制度の普及を図った 職団員合計954名 2 消防団員等福祉共済の普及を図った (1) 加入状況 56団 1協会 11,114名 (2) 福祉共済の取扱 3 女性防火クラブ員等福祉共済の普及を図った (1) 加入状況 1市 1町 15名 (2) 共済金の取扱 4 全日本消防人共済会の行う火災共済の普及を図った (1) 加入状況 6団 1協会 426名 (2) 共済金の取扱 5 消防育英会の行う育英事業の普及を図った ・ 奨学金受給者なし 6 全国消防殉職者慰霊祭については、ニッショーホールでの開催となり、ご遺族代表1名(添田様)、野本会長、横川事務局長及び企画担当課長が参列した 7 第30回全国女性消防団員活性化長崎大会への参加し、女性消防団員の育成と活性化を図った(再掲) 8 日本消防協会が主催する第52回消防団幹部特別研修へ団幹部が参加し、知識技術の向上を図った(再掲) 9 日本消防協会が主催する第25回消防団幹部候補中央研修へ若手男女消防団員が出席し、将来の幹部養成を図った(再掲)	(他) (他) (他) (他) (他) (他) (公1) (公1) (公1)	期中 期中 12/1現在 期中 4/1現在 期中 4/1現在 期中 9/11 11/13~14 1/14~17 1/28~30

事業区分

- (公1) 県民の生命、身体及び財産を火災等から保護すると共に各種災害による被害を軽減するための消防防災技術の向上及び消防団等の組織の強化事業
- (公2) 県民の生命、身体及び財産を火災等から保護すると共に各種災害による被害を軽減するための消防団員の士気の高揚と組織の強化事業
- (公3) 県民の生命、身体及び財産を火災等から保護すると共に各種災害による被害を軽減するための地域連携の強化事業
- (他) その他の事業